

夏用ユニホーム刷新

# きちんと感・快適さ両立

## 三福運輸 襟付きTシャツ採用



襟部分の正面はファスナーで開閉可能

【新潟】三福運輸（五月女奈緒美社長、新潟県新発田市）は今年、医薬品配送に携わるドライバーの夏用ユニホームを刷新した。暑さ対策を考慮し、ポロシャツからTシャツタイプに変更。ただ、一般的なデザインではなく、やや襟が付いており、見た目の「きちんと感」（五月女社長）と快

適さを両立させている。

3月2日付で認定を受けた「健康経営優良法人2020（中小規模法人部門）」も踏まえた取り組み。襟が無い分、Tシャツはポロシャツより涼しいものの、首回りが伸びてしまうこともあり、どうしてもカジュアルさが出てしまうのがネックだった。

新ユニホームは襟部分の正面をファスナーで開閉できるため、取引先との対面時と、1人での作業時とで

使い分けられ、この課題をクリアする。

全て会社のイメージカラーの青でそろえ、胸のワンポイントと背中にはローマ

字で社名を入れた。

五月女氏は「特に医薬品の荷主には清潔感を強く求められる。当社の経営理念は『お客さま』『社員』『会

社』の3者の幸福を願うこと。その視点に立ち、今後新たな試み、改善に努めたい」と話している。

（河野元）